

滋賀県議会議員一般選挙

あなたの一票が、今後のまちづくりを進める一票になります。安易に棄権することなく貴重な一票を活かしましょう。

◆告示日／4月3日(金)
◆投票日／4月12日(日) 7時～20時
(大河原、鮎河、畑の投票所は19時まで)

投票できる方は

【年齢】 投票日現在、年齢20歳以上の日本国民(平成7年4月13日以前に生まれた方)
【住所】 平成27年1月2日までに甲賀市への転入届出をされ、4月2日まで引き続き住民登録されている方

住所を移された方は

・平成27年1月2日までに転出し、県内の新しい住所で転入届をされた方
↓県内の新しい住所での投票
・甲賀市から平成27年1月3日以降に滋賀県内の他市町に転出された方
↓引き続き滋賀県内の転出先に居住している場合のみ甲賀市で投票
★市役所等の住民登録窓口で発行する「引き続き滋賀県の区域内に住所を有する旨の証明書」(無料)が必要です。

当日投票に行けない方は期日前投票を

【期間】 4月4日(土)～11日(土)
【時間】 8時30分～20時

【場所】

- ・水口庁舎3階 第2・3会議室
 - ・甲南庁舎1階
 - ・ミーティングスペース
 - ・土山地域市民センター1階 玄関横スペース
 - ・甲賀大原地域市民センター1階 住民サロン
 - ・信楽地域市民センター1階 事務室
- ※宣誓書をご記入いただきます。
※いずれの期日前投票所でも投票することが出来ます。入場整理券は棄権防止や投票所での整理のためのものですので、ご持参いただかなくても投票できますが、お手元に届いていればご持参ください。

不在者投票制度のご利用を

・仕事や勉強のため、市外に滞在されている方は、投票用紙を甲賀市選挙管理委員会へご請求ください。
・指定病院や施設に入院・入所されている方は、その施設内で不在者投票できます。詳細は、指定病院や施設にご確認ください。
・身体に重度の障がいがある方で、事前に登録をされている方は、郵便による不在者投票をすることが出来ます。詳細は、早めにお問い合わせください。



問い合わせ
選挙管理委員会事務局
☎65-0667 / ☎63-4561

地域振興券「モリ券」発行で地域活性化 —甲賀木の駅プロジェクト—

昨年6月にスタートした、森林の環境保全と地域振興を目的とした事業「甲賀木の駅プロジェクト」が本格的に動きだしました。この事業は、林業研究グループ「甲賀愛林クラブ」と大原自治振興会の有志による運営委員会が進めているものです。間伐材の買い取り額に対して同会が一定額を上乗せし、地域振興券「モリ券」として出荷者に発行する仕組みで、現在、出荷者は28人が登録し、昨年6月からの出荷量は約100トンに上ります。このほど、モリ券の発行が始まり、甲賀町内の15店舗で利用できるようになりました。同会では、モリ券を通じて商店の利用が増え、地域の活性化に繋がればと期待を膨らませています。



▲地域振興券「モリ券」を紹介する運営委員長の竹中島さん(右)と同商店街事業部担当の増田さん(左)

甲賀木の駅運営委員会(竹中島) ☎88-4312

一足早く春を満喫 盆梅列車

●信楽地域市民センター

信楽高原鉄道では、2月14日から3月8日にかけて盆梅列車が運行されました。

梅のほのかな香りが漂う鉢植えが並んだ車内には、鶯の鳴き声が流れ、乗車された方は、「ほっとできる雰囲気です、春がもうそこまで来ている感じがします」と鉄道の旅を楽しまれました。



▲梅の鉢植えが並ぶ車内

みんなで支え合うために

●土山地域市民センター



▲熱心に耳を傾ける参加者

全ての人のため暮らしやすい社会づくりを目指し、「防災とまごえあい」と題して研修会が2月19日、フィナンソ土山で開催されました。全国の被災地で支援経験のある高島市の井岡仁志さんを講師に招き、災害時に配慮が必要な方たちの視点に立った防災とまごえあいのあり方について講演が行われました。また、地元の自主防災会や自治振興会、障がい者団体各代表の方を交えて、防災や福祉のまちづくりをめざす活発な意見交換が行われました。

地域市民センター

東 西 南 北

研修会は信楽高原鉄道に乗って

●貴生川地域市民センター

貴生川地区福祉協議会では研修の一環として、2月7日、信楽町の県立陶芸の森で行われた信楽地域で取り組まれている見守りネットワーク活動の実践報告会に参加しました。

地域の方とふれあい 交流でじゃが餅作り

●甲南第三地域市民センター



▲じゃが餅作りを楽しむ子どもたち

甲南第三小学校の子どもたちが2月12日、宮地区のおじいさん、おばあさんとじゃが餅作りで交流を深めました。この日は、下野川延寿会の皆さんが、子どもたちにじゃが餅の作り方を丁寧に教えてくださいました。子どもたちは、「お餅のようにもちっとしておいしかった。家族に作ってあげようと思う」と笑顔で話してくれました。最後に子どもたちから下野川延寿会の皆さんへ感謝の気持ちを込めて肩たたき。地域の方とふれあう良い機会となりました。



▲信楽高原鉄道で会場へ出発する委員会の皆さん